



## コロナ禍で粘り強く頑張る建交労の仲間 2021年中央春闘討論集会

11月21～22日の2日間にわたり、静岡県伊豆の国市ホテルサンバレーにおいて『建交労 2021年中央春闘討論集会』が開催されました。

1日目は、全労連黒澤幸一事務局長を講師に「2021国民春闘方針」の提案があり、続いて全国から5人の特別報告がありました。

ホテルサンバレー第1ホール

全労連黒澤幸一事務局長



発言は2日間でリモート参加5人と、会場から17人の発言がありました。組織拡大や各地の闘いの報告がなされ、また福島から「来年3月で東日本大震災から10年になる。原発の水素爆発により未だ復興ができない地域がある。除染した土を運ぶためゼネコン関係のダンプが1日7万円で3000台が動いていて莫大な税金が使われている」と報告。大阪からは大阪都構想の闘いについて、沖縄から辺野古基地埋め立ての状況、愛知の学童からコロナ禍での子供たちについて、「ひとり一人にあったきめ細やかな対応が求められるが、子供たちがどうなっているのか、自治体も国も議員にもまるで分かっていない」などの発言がありました。

最後に「いよいよ21年春闘！建交労は、全労連の中でも有力な民間単産の1つ。全ての組合員が知恵を出し尽くし団結して頑張ろう！」で終了。

19県から62人、リモート29人の参加でした。



## 世界唯一の被爆国 日本は早く批准せよ 50か国批准達成 1/22 発効

2017年7月7日、国連会議において核兵器禁止条約を賛成122、反対・棄権各1の圧倒的多数で採択しました。

条約はその前文で、核兵器の非人道性を告発し、核兵器による惨害を防ぐ唯一の確実な道として核兵器廃絶の必要性を明確にしました。

その上で、第1条では、核兵器の『開発・実験・生産、製造、取得、所有、貯蔵』、『使用と使用の威嚇』、『譲渡』、支配地域内での『設置や配備』を含むすべての行為を禁止した画期的なものでした。この年の9月20日に調印がオープンにされ、すべての国連加盟国政府のこの問題に対する態度が問われることになりました。

広島原爆ドーム

ニューヨーク国連本部



そして今年10月24日、条約発効に必要な50カ国の批准を達成し、発効が可能となりました。中米のホンジュラスが50カ国目の批准国となり、条約は来年1月22日発効となります。

広島・長崎に原爆投下されて75年、被爆者をはじめ世界と日本人の願いが続けたことが実現しました。「唯一の被爆国」日本は核兵器のない世界のすみやかな実現のために、一日も早く批准し、先頭に立って行動することが求められます。

批准50カ国突破に喜び集まった人々 (名古屋栄)



# みんなのひろば

みなさんのお手紙や投稿写真など、この広場で楽しく交流しましょう！

## 紅葉も見ごろ

豊田市稲武町の大井平の紅葉です。名倉川沿いに520本のカエデやイロハモミジ、イチョウが植えられていて、名倉川の川面にも美しい紅葉が映し出され、豊田市の隠れた紅葉スポットです。



豊田市大井平の紅葉

松原義弘

## にぎやかな風鈴でしょ！

6年前に退職してから『ボケ防止』にと、友人に教わりました。

今年は、コロナで自粛生活が続き、鶴を折りながら余った紙を使って作ってみました。

窓を開けておくと風がある日はくるくると回ります。

名前は風鈴と教えてもらいました。

赤羽美津子



## 組合員数

☆認定組合員数 **31**人

☆組合員総数 **32**人

## 12月の予定

- 19日 県本部 執行委員会兼代表者会議
- 22日 北信越労職支部第73回執行委員会
- 20日 県本部 平和宣伝
- 29日～ 事務所正月休み

## ご案内

※ 新型コロナ感染者状況を見ながら、会議の日を決めます。また、ニュースでお知らせします。

## 病に負けず 仲間と力を合わせ

11月30日、愛知分会第17回定期大会を瀬戸市文化センターにおいて開催します。愛知分会はまだ歴史が浅いのですが、知らない人も多くなっていますので少し紹介します。

2002年（平成14）11月、北信越労職部会において、愛知県内での労災職業病の組織拡大をスタートさせることが確認されました。

窯業が盛んだった瀬戸市は、じん肺患者が多く出ていましたが、当時、管理区分の決定はされていても、合併症の検査がされずに放置されていました。そこで2003年1月には北信越の専従役員が、瀬戸市で『健康相談会』を実施すると20人もの相談者が訪れました。

3～4月には知多市・常滑市・知立市・刈谷市・高浜市・半田市、11月には岡崎市において『健康相談会』を実施し、12月には愛知分会結成大会が行われました。

2004年（平成16）には県内各所で『人として生きる』の上映会が行われ、この年の7月30日に北信越労職合同支部（新潟・富山・長野・石川・福井・愛知）が結成され総会が行われています。

その後、相談会や組合員からの紹介により、組合員も2006年には20人、2011年31人、2014年は43人と増加してきました。

ところが2018～19年で次々と亡くなり、現在、認定組合員数は31人となってしまいました。

今まで、トンネルじん肺根絶訴訟の裁判傍聴や行動・メーデーの参加・労働局要請・なくせじん肺キャラバンなど、北信越や県本部の仲間とともに、多くの行動に参加して歴史を積み上げてきました。これからもみんなで力を合わせましょう。

